

令和6年引越繁忙期に関するアンケート結果

有効回答 84件 / 288社 発送 回答率 29.2%

1. 今年の引越繁忙期（2024年3月～4月）の引越受注件数は、**7,592** 件です。 **1事業者当り 90件**

2. 今年の引越繁忙期は、昨年と比較して分散引越が進んだと思いますか。

有効回答 84件

①思います 16件 (19%) ②ほぼ同じ 51件 (61%) ③思いません 17件 (20%)

理由：①お客様がインターネットを見て早い問合せがあったので、集中しなかった ②公務員は3/30～4/3に集中しているが、民間会社は分散している ③3/31 搬出 4/1 搬入希望の問合せ多数

3. 今年の引越繁忙期は、昨年と比較して引越件数はどうでしたか。

有効回答 84件、合計-166件

①減少した 36社 (約-650件) ②ほぼ同じ 28社 (±0件) ③増加した 20社 (約+484件)

4. 今年の引越繁忙期は、昨年と比較して受注出来なかった件数はどうでしたか。

有効回答 84件、合計 264件

①減少した 13社 (約-134件) ②ほぼ同じ 55社 (±0件) ③増加した 16社 (約+398件)

理由：①公務員も法人も昨年より減で、引越の問合せも減った ②作業リーダーの人数で受注件数を制限し、3月末は数件お断りした ③受注エリアを限定したが、車両不足・作業員不足だった

5. 今年の引越繁忙期は、昨年の繁忙期と比較して引越運賃料金を改定しましたか。

有効回答 84件 (運賃アップ率)

①値下げした 0社 ②ほぼ同じ 50社 ③値上げした 34社 (平均+12%)

理由：②家具パット類を購入し資材料金を抑えた。人件費も適正な金額にし、自社車両での輸送は出来ず協力会社へ委託し割増になった ③備車側からの値上もあり、昨年より運賃をアップした

6. 今年の引越繁忙期で、お客様からの苦情を多い順に3つお答え下さい。

有効回答 38社、合計 72件

①物損 (33.3%) ②日時設定及び変更 (24.9%) ③遅延 (20.8%) ④その他 (21%)

連絡不備、料金が高い、作業員の遅延、接客が悪い、資材不足、荷物の引きずり(倉庫内) 等

傾向と対策：取扱い家具の強度を確かめ、適切な梱包指示。作業員の若返りと作業の標準化が必要。資材と荷物を間違えない様に印しをつける。件数の需給バランスをとる。協力会社への説明が不十分でドライバーも知らなかった。不動産屋の立会い等があり、早めに時間を設定する。

7. 物流の「2024年問題」で引越業務に影響があれば、多い順に3つお答え下さい。

有効回答 57社、合計 104件

①長距離の引越対策 (33.7%) ②人材確保 (26.0%) ③長距離のコスト増 (18.5%)

④その他 (21.8%) 人件費アップ、車両不足、委託業者の減少、価格競争、作業の時間帯不備 等

理由：①長距離の拘束時間が難しい上、今までの2件積、2件卸しだと拘束時間を過ぎる ②自社・備車・人材派遣、全て人材不足 ③長距離をコンテナ輸送に変更したが利益は減少した 等

アンケートにお答え頂き、大変ありがとうございます。